

登別が誇る良好な景観と

豊かなみどりを次の世代へ



▶問い合わせ 都市政策グループ (☎011-3230)

太平洋に面し、支笏洞爺国立公園をはじめとした豊かな自然環境に恵まれている登別市。

市内にあふれる良好な景観と豊かなみどりは、子どもたちの成長にとって大きな糧となり、市民の皆さん全員の貴重な財産です。

これらの良好な景観と豊かなみどりを、市、市民、事業者が協働して、守り、育て、つくり、次の世代へ引き継ぐため、市は、『登別市景観・みどり推進会議』と共に、景観・みどりづくりの実践的な活動や普及啓発を行っています。

景観・みどりの保全・育成

市は、次の世代へ継承すべき『景観・みどり遺産』などを指定し、保全・育成を図っており、現在、『景観・みどり遺産』として1カ所、『保護樹』として1カ所を指定しています。

指定の候補などについては、市民の皆さんから、随時募集していますので、詳しくは都市政策グループにお問い合わせください。

景観・みどり遺産

特に貴重と認められる良好な景観や豊かなみどりを次の世代へ継承すべきもの保護樹

景観上優れているなど、特に保全する

景観・みどり遺産



都市公園『キウシト湿原』

環境省の「日本の重要湿地500」に選定されているキウシト湿原は、住宅地に近接しているにも関わらず、希少な動植物が多く生息しており、展望台から望む景色は、北海道の原風景といわれています。

季節を通した植物の観察会やホテル観賞会などのほか、市内小学校の体験学習などにも利用されており、多くの市民に親しまれる公園となっています。

保護樹



『湯守りの桂』

登別温泉街にある推定樹齢約300年、樹高約20mの桂の大木です。登別温泉が開拓される前から存在し、温泉街の移り変わりを見守ってきた樹木です。

温泉の管理を行う人を『湯守』と呼ぶことから『湯守りの桂』と名付けられています。

景観…海や山、川などの自然に存在する景色。建物や道路などの人工的なものを含む

みどり…自然的環境のなかで生育する樹木や草花などの植物

必要があると認められる健全な樹木眺望ポイント

良好な景観を眺望することができる主要な場所

景観・みどりづくりの活動

市内で、景観・みどりづくりを行っている団体などで構成される『登別市景観・みどり推進会議』では、市内の各団体が行う景観・みどりづくりの活動サポートを行っています。

平成31年度は、さらに景観・みどり遺産と保護樹の保全活動や啓発活動を行っていく予定です。



定です。

キウシト湿原『外来種駆除』

湿原内に生息している希少な在来植物を守るため、外来種を守るため、外来種である『オオハングンソウ』の駆除について、引き続き支援します。



▲群生する『オオハングンソウ』

『湯守りの桂』の市民周知活動と保護活動の推進

『湯守りの桂』の魅力である、夏の生い茂る葉の力強さや秋の紅葉を、多くの人に知ってもらえるよう、取り組みを進めるほか、保護活動についても検討していきます。

次の世代へ引き継ぐ良好な景観と豊かなみどり

市の大切な財産である良好な景観と豊かなみどりを次の世代にも引き継いでいくためには、市民の皆さん一人ひとりの活動が重要です。『景観・みどりづくり』には、特別な資格は必要ありません。ふるさとの美しい自然を守りたいという思いのある方の参加をお待ちしています。推進会議の活動に、参加することも可能ですので、興味のある方はお問い合わせください。推進会議が行っている活動については、市公式ウェブサイトに掲載しています。



▲市公式ウェブサイト